

冷え込む日が多くなり、風邪をひいてしまったという人も多いだろう。たかが風邪だとタカをくくってはいけけない。放置しておくと、糖尿病の「引き金」を引いてしまうケースがあるのだ。

炎症や脱水が血糖を上げる

考えている人も少なくない。

そうした「予備群」に

尿病専門医で「しんくりニック」院長の辛浩基氏が言う。

肥満などの生活習慣が原因になる2型糖尿病は、膵臓から分泌されるインスリンの働きが悪くなったり、不足したりすることで高血糖の状態が続く病だ。放置しておくとさまざまな合併症を招き、網膜症で失明したり、腎症で人工透析になったり、神経障害で足を切断しなければならぬケースもある。心筋梗塞、脳卒中、がんなどの命に関わる病気にもかかりやすくなる。

予備群は危ない

「風邪をひいたことがきっかけで、糖尿病を発症する患者さんがいるのです。風邪をひくと、それだけで血糖値は上昇します。風邪が起る体内の炎症によって、筋肉や臓器が持っている血中のブドウ糖を取り込んで処理する能力が低くなりま

「たかが風邪」が

す。風邪が起る体内の炎症によって、筋肉や臓器が持っている血中のブドウ糖を取り込んで処理する能力が低くなりま



んは、漢方薬でせき止めの成分として使われている「麻黄」という生薬にも含まれている。麻黄は「葛根湯」などの漢方薬に使われている。糖尿病患者はもちろん、糖尿病予備群や高血糖を放置している人は、うかつに飲まないほうがいい。

糖尿病の引き金引く

厚労省の推計では、このままだと数年後に糖尿病を発症する可能性が高い「糖尿病予備群」が約1100万人いるといわれている。空腹時血糖値が「110mg/dl」、HbA1cが「5.4〜6.4%前後」の人が予備

また、風邪による発熱で約1℃、38度程度では

しまう。

昇するのです。また、通常であれば高血糖になると血液中の余分なブドウ糖は尿の中に排泄され、尿と一緒に体外に排出さ

れます。しかし、脱水状態で尿の量が減ってしまうとブドウ糖も排出されないので、血糖が上がってしまいます(辛院長)

たか風邪だと甘く見て症状を長引かせてしまると、糖尿病につながる危険があるのだ。

まずは、自分の血糖値をしっかりと把握すること。そううえで血糖が高めの人は、風邪はしっかりと対策したい。

また、風邪による発熱で約1℃、38度程度では、血糖状態を悪化させ約1.5%の水分が失われるといわれる。そのた

も、血糖状態を悪化させ約1.5%の水分が失われるといわれる。そのた

液の中の水分が失われ、血液の成分が濃くなりま

す。その分、血糖値が上昇するのです。また、通常であれば高血糖になると血液中の余分なブドウ糖は尿の中に排泄され、尿と一緒に体外に排出さ

たか風邪だと甘く見て症状を長引かせてしまると、糖尿病につながる危険があるのだ。

まずは、自分の血糖値をしっかりと把握すること。そううえで血糖が高めの人は、風邪はしっかりと対策したい。

「アレルギー」による鼻水などの症状を改善させる際に使われるステロイド薬も、血糖を悪化させるケースがあります。ステロイド薬の主成分は「グルココルチコイド」というインスリン拮抗ホルモンで、インスリンの分泌を抑えたり、インスリンに対する感受性を低下させます。つまり、インスリンの働きを阻害して、血糖値を上昇させてしまうのです(辛院長)